

日本脊椎脊髄病学会 平成 28 年度第 2 回安全医療推進委員会 議事録

日時：平成 29 年 1 月 19 日（金）19:30～21:00

会場：神戸ポートピアホテル南館 5F 会議室

出席者：根尾昌志（担当理事）、今釜史郎（委員長）、岩崎幹季、種市洋、宮腰尚久、大谷晃司、村上英樹、鈴木秀典（書記）（順不同、敬称略）

欠席者：小西宏昭（敬称略）

報告・確認事項

1. 理事会（2017.01.20 開催予定）での審議・報告事項（根尾理事）の確認

- 1) 2011 合併症調査に関する論文が、JOS 1 月号、SSRR 創刊号（1 月）にそれぞれ一週ずつ publish されたことの報告。
- 2) 合併症調査を脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設に限定し報告を義務（に近いもの）とすること。それに伴い前倒しして合併症調査を開始したい件。
- 3) 合併症調査の事務処理を毎日学術フォーラムに委託する件（見積もりなどは後日の E 理事会にてご連絡見込み）。

審議事項

1. 合併症の内容（資料 1, 2 [大阪大学脊椎術後合併症入力シート雛形]を参考に）

- 1) 合併症の定義について
 - (ア) 全身合併症の定義：他科にコンサルトを要したものとする。
 - (イ) 全身合併症の項目；簡素なものとなるようプルダウン選択で以下の有無とする。

心臓・脈管疾患、呼吸器疾患、脳血管疾患・精神疾患
消化器疾患、腎・泌尿器疾患、血液疾患、
死亡・その他
- 2) 術中・術後合併症の項目：資料 2 にあるものを基本とする。
- 3) 合併症調査期間：周術期（術後 1 か月以内）に生じた合併症を記載。正確で回収率の高い合併症登録を目指す。

2. 合併症調査時期

- 1) 1 年間の症例に対する合併症でなく、1 年のうち、ある 1 か月間のデータのみを正確に入力してもらうことでデータの回収率や正確さを向上できる。
- 2) たとえば 6 月にデータ入力→8 月にデータ回収など。毎年施行も可能。

3. 合併症記入フォーム

- 1) エクセルファイルを使用する（大阪大学合併症記入フォームを雛形に）。
- 2) フォームを事前に各施設に送り、記入・返信する形式でデータを回収（普遍的なデータが得られる）

4. 合併症調査の義務化について
脊椎脊髄外科研修基幹施設の義務、もしくは3年ごとの認定施設更新の必須条件としたい。今後理事会や専門医制度委員会にて検討していただくよう要望する。
5. 倫理委員会
まず、日本脊椎脊髄病学会の倫理委員会を通す必要がある。そして早期に各施設の倫理委員会認証を得る。
6. 今後の予定
 - 1) 1-2)の術中・術後合併症の項目は資料2にあるものを基本とするが、必要に応じEmail 審議を行う
 - 2) 5の日本脊椎脊髄病学会の倫理委員会につき確認する。
 - 3) 毎日学術フォーラムへの依頼事項については再度検討とする。
7. 次回会議日程
日本脊椎脊髄病学会に合わせて2017年4月15日(土) am7時~8時30分開催予定とする。